

2021年3月期 決算説明

2021年5月24日

 **丸文株式会社**

東証1部 7537

アジェンダ

1. 2021年3月期 連結決算の概要

2. 2022年3月期 業績予想の概要

3. 株主還元

4. 中期経営計画の取組み

5. 参考資料

2021年3月期 決算の概要

2021年3月期 業績サマリ

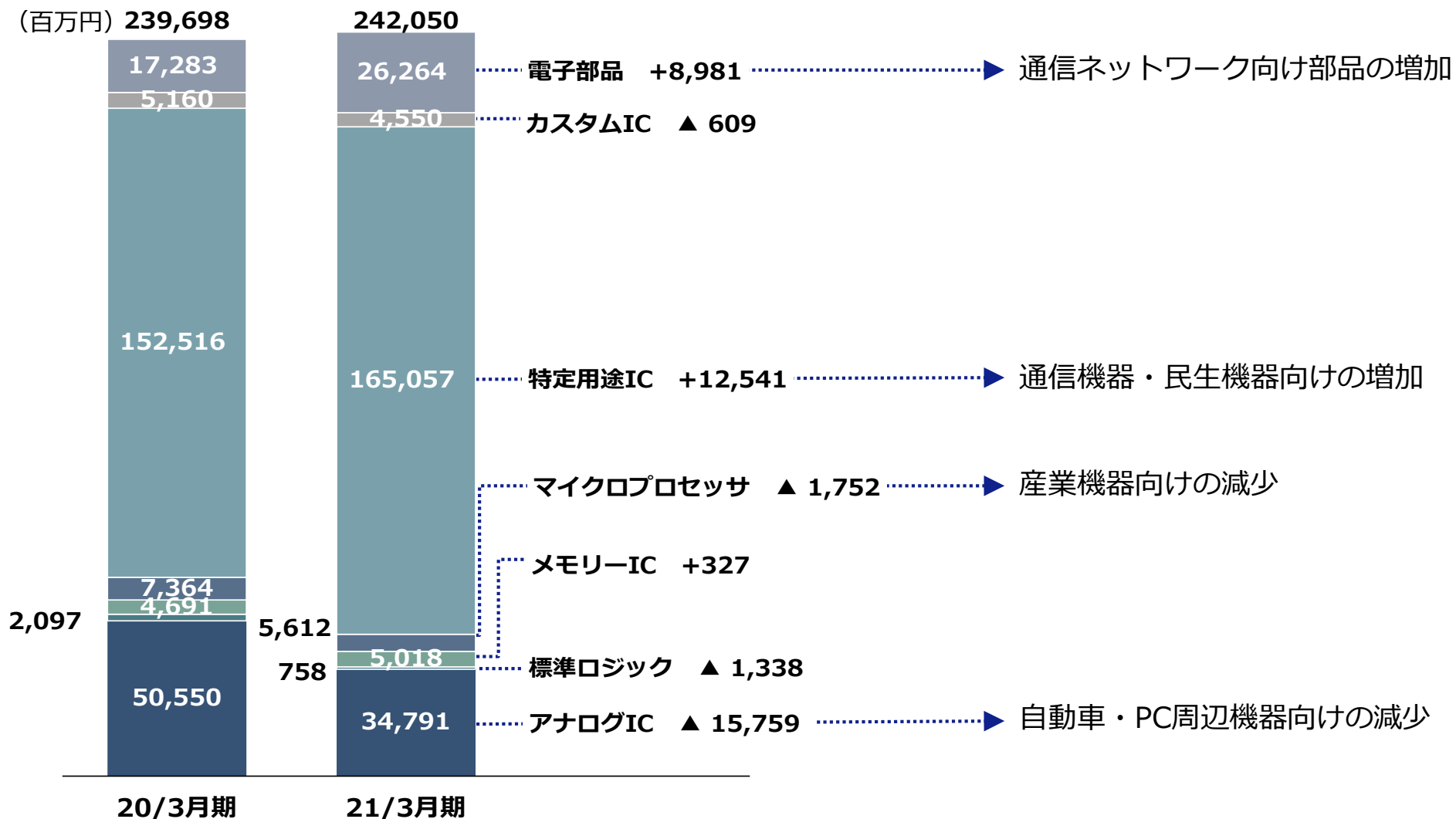
(百万円)	20/3月期		21/3月期		前期比	
	実績	構成比	実績	構成比	金額	%
売上高	287,550	100.0%	289,283	100.0%	+ 1,733	0.6%
デバイス事業	239,698	83.4%	242,050	83.7%	+ 2,352	1.0%
システム事業	47,852	16.6%	47,233	16.3%	△ 619	-1.3%
売上総利益	18,577	6.5%	16,217	5.6%	△ 2,360	-12.7%
販管費	16,207	5.6%	15,193	5.3%	△ 1,014	-6.3%
営業利益	2,369	0.8%	1,023	0.4%	△ 1,346	-56.8%
営業外収益	958	0.3%	160	0.1%	△ 798	-83.3%
営業外費用	1,322	0.5%	1,149	0.4%	△ 173	-13.1%
経常利益	2,006	0.7%	33	0.0%	△ 1,973	-98.4%
特別利益	11	0.0%	31	0.0%	+ 20	181.8%
特別損失	1,231	0.4%	2,603	0.9%	+ 1,372	111.5%
親会社株主に帰属する当期純利益	△ 75	0.0%	△ 2,133	-0.7%	△ 2,058	-

■ ポイント (前年対比)

売上高	通信機器・民生機器向け半導体の需要が増加
売上総利益	期中の円高進行で円ベースでの利益が押し下げられ減少
営業利益	営業活動経費の節減を図り人件費も減少したが、売上総利益の減少を補えず減益
経常利益	前期は為替差益716百万円、今期は為替差損333百万円を計上
当期純利益	特別損失として投資有価証券評価損 1,350百万円、特別退職金1,229百万円を計上

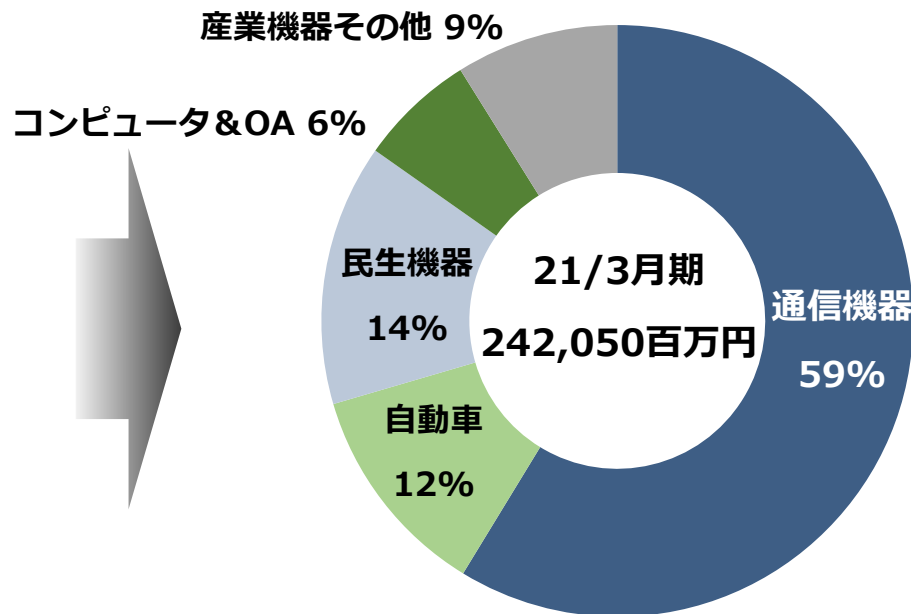
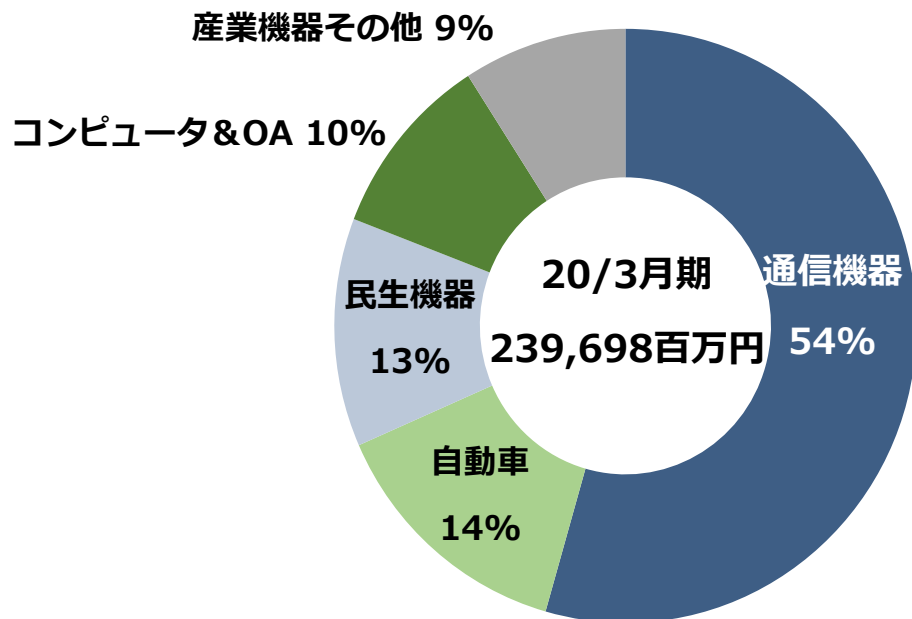
2021年3月期 『デバイス事業』 品目別売上高

■ 巣ごもり需要や新規商権の獲得により伸長



2021年3月期 『デバイス事業』 用途別動向

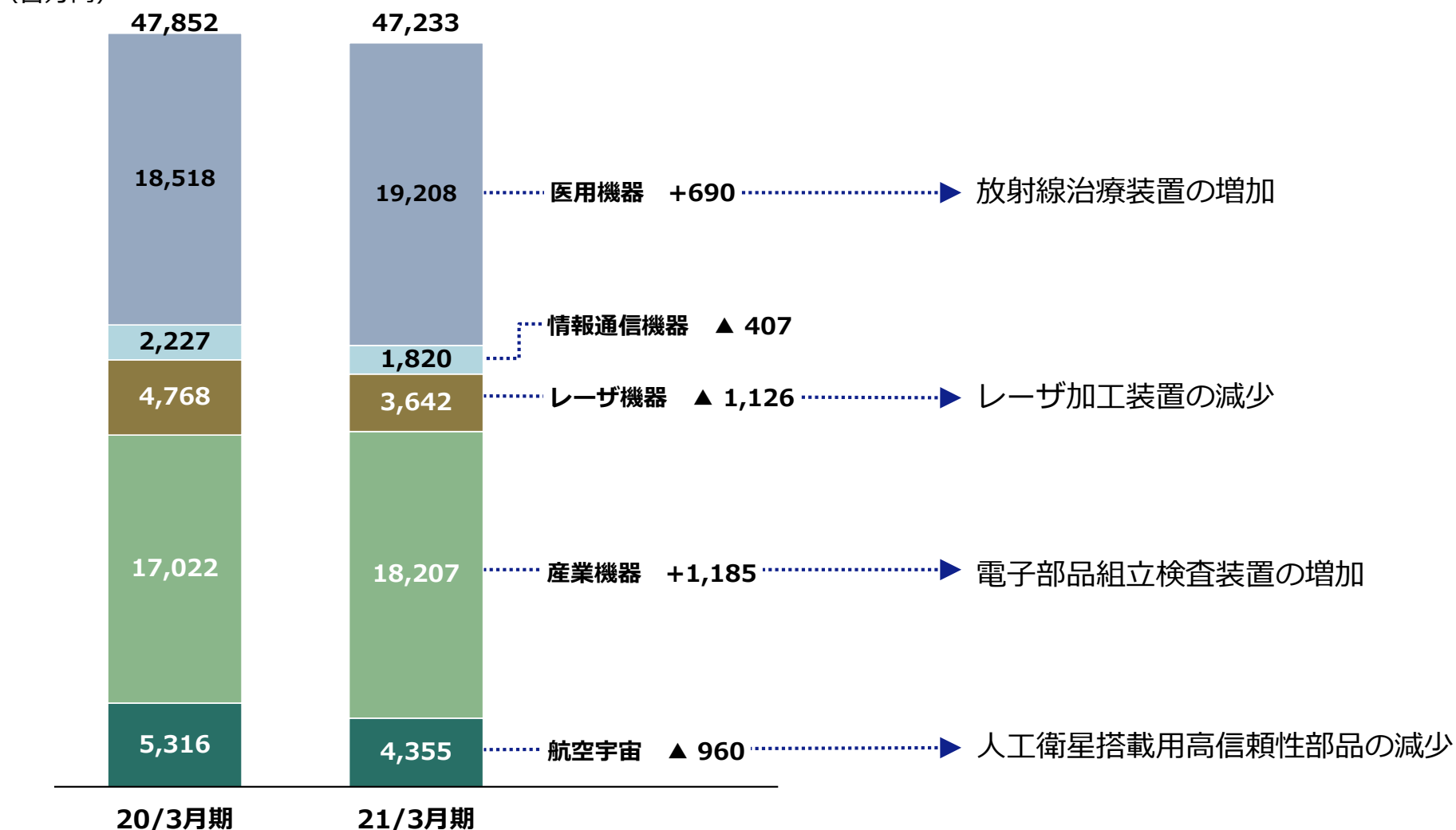
	動 向	
通信機器		通信端末向けが増加
自動車		車載インフォテインメント機器向けの減少
民生機器		娯楽機器向けが増加
コンピュータ&OA		プロジェクターなどOA機器向けが減少
産業機器その他		前年並み



2021年3月期 『システム事業』 品目別売上高

■ コロナ禍で企業の設備投資の鈍化や一部案件の計画遅延が発生

(百万円)



2021年3月期 貸借対照表の概要

(百万円)	20/3月期末 実績	21/3月期末 実績	前期末比 増減額	主な増減要因	
資産合計	131,451	127,006	△ 4,445		
流動資産	118,617	114,804	△ 3,813	現金及び預金	+6,084
				受取手形及び売掛金	△ 4,319
				商品及び製品	△ 6,504
固定資産	12,833	12,202	△ 631	投資その他資産	△ 537
負債合計	83,246	81,966	△ 1,280		
流動負債	76,537	76,165	△ 372	支払手形及び買掛金	+4,888
				短期借入金	△ 5,150
固定負債	6,708	5,801	△ 907	退職給付に係る負債	△ 828
純資産合計	48,204	45,040	△ 3,164	利益剰余金	△ 2,802

2022年3月期 業績予想の概要

2022年3月期 業績予想サマリ

(百万円)	21/3月期		22/3月期 (収益認識基準)		22/3月期 (従来基準)	
	実績	構成比	予想	構成比	予想	構成比
売上高	289,283	100.0%	153,000	100.0%	238,000	100.0%
デバイス事業	242,050	83.7%	103,500	67.6%	188,000	79.0%
システム事業	47,233	16.3%	49,500	32.4%	50,000	21.0%
売上総利益	16,217	5.6%	17,000	11.1%		
販管費	15,193	5.3%	13,800	9.0%		
営業利益	1,023	0.4%	3,200	2.1%		
営業外収益	160	0.1%	350	0.2%		
営業外費用	1,149	0.4%	550	0.4%		
経常利益	33	0.0%	3,000	2.0%		
特別利益	31	0.0%	-	-		
特別損失	2,603	0.9%	-	-		
親会社株主に帰属する当期純利益	△ 2,133	-0.7%	1,900	1.2%		

■ ポイント (前年対比)

売上高	通信機器・民生機器向け半導体の減少、電子部品組立検査装置や高信頼性部品の増加を見込む
売上総利益	売上の増加に加え、付加価値の高い商材の取扱い増加により増益を見込む
営業利益	人件費を中心とした販売管理費の減少により増益を見込む

2022年3月期 『デバイス事業』 品目別売上高予想

■ 新規の商権・商材の獲得を見込むものの、通信機器や民生機器向けが減少

(百万円)	21/3月期 実績	22/3月期予想 (従来基準)	増減	主な増減理由	22/3月期予想 (収益認識基準)
アナログIC	34,791	36,372	+1,582	産業機器向け・自動車向けの増加	36,372
標準ロジック	758	74	△ 684		74
メモリーIC	5,018	5,623	+605		5,623
マイクロプロセッサ	5,612	7,719	+2,107	産業機器向け・自動車向けの増加	7,719
特定用途IC	165,057	106,894	△ 58,163	通信機器向け・民生機器向けの減少	26,887
カスタムIC	4,550	1,155	△ 3,395	PC関連機器向けの減少	1,155
電子部品	26,264	30,162	+3,898	通信ネットワーク向け部品の増加 ソフトウェア製品の増加	25,668
合計	242,050	188,000	△ 54,050		103,500

2022年3月期 『システム事業』 品目別売上高予想

■ 前期からの期ズレ案件の取り込みや設備投資需要の増加を見込む

(百万円)	21/3月期 実績	22/3月期予想 (従来基準)	増減	主な増減理由	22/3月期予想 (収益認識基準)
航空宇宙機器	4,355	4,947	+592	人工衛星向け高信頼性部品の増加	4,947
産業機器	18,207	18,790	+582	産業用組込コンピュータの増加	18,390
レーザ機器	3,641	4,186	+545	産業用半導体レーザの増加	4,186
情報通信機器	1,820	1,978	+158		1,978
医用機器	19,208	20,100	+892	画像診断装置の増加	20,000
合計	47,233	50,000	+2,768		49,500

株主還元

株主還元

■ 配当方針

配当性向 連結30%以上を目安として決定

■ 配当予想

	21/3月期	22/3月期 (予想)
1株当たり年間配当金(円)	16.00	30.00
中間配当	8.00	10.00
期末配当	8.00	20.00
配当性向(%)	—	41.3%

中期経営計画の取組み

2020年度の事業環境

感染症拡大による変化

- 対面活動の制約
- テレワーク等での新たな需要喚起

社会生活の変化

- AI・ロボットの活用
- 自動車のEV化が進展

半導体需給の変化

- 半導体不足の懸念も需要は旺盛

「変化」を「チャンス」に

新たな事業領域へチャレンジ

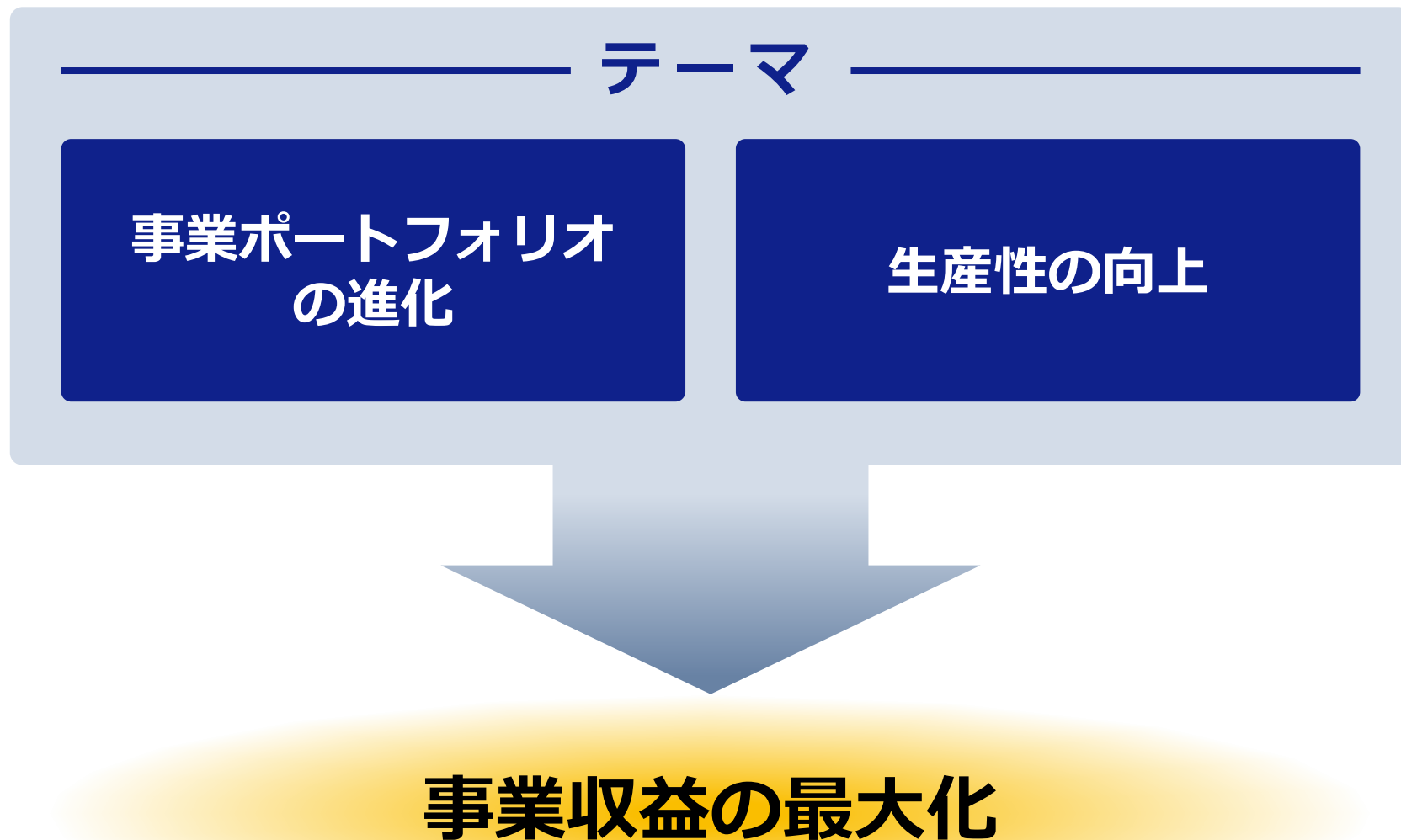
創業以来の **先見** と **先取** の精神のもと

中期経営計画の取り組み (2019年度 ~ 2021年度)

新たな価値を創造するビジネスモデルの構築

成長市場に向けた事業開発の促進

持続可能な社会に貢献する取り組みの強化



デバイス事業の取り組みと重点施策

1 高付加価値 ビジネスの推進

- 付加価値の高い商材・サービスを拡充し事業ポートフォリオを転換
- ソリューション提案力の強化

非接触見守り
センサ



2 成長市場での 事業拡大

- 介護・医療・AI・ロボティクスなど成長分野に注力

除菌機能付AIロボット
Aeolus Robotics社



電子聴診器
StethoMe社



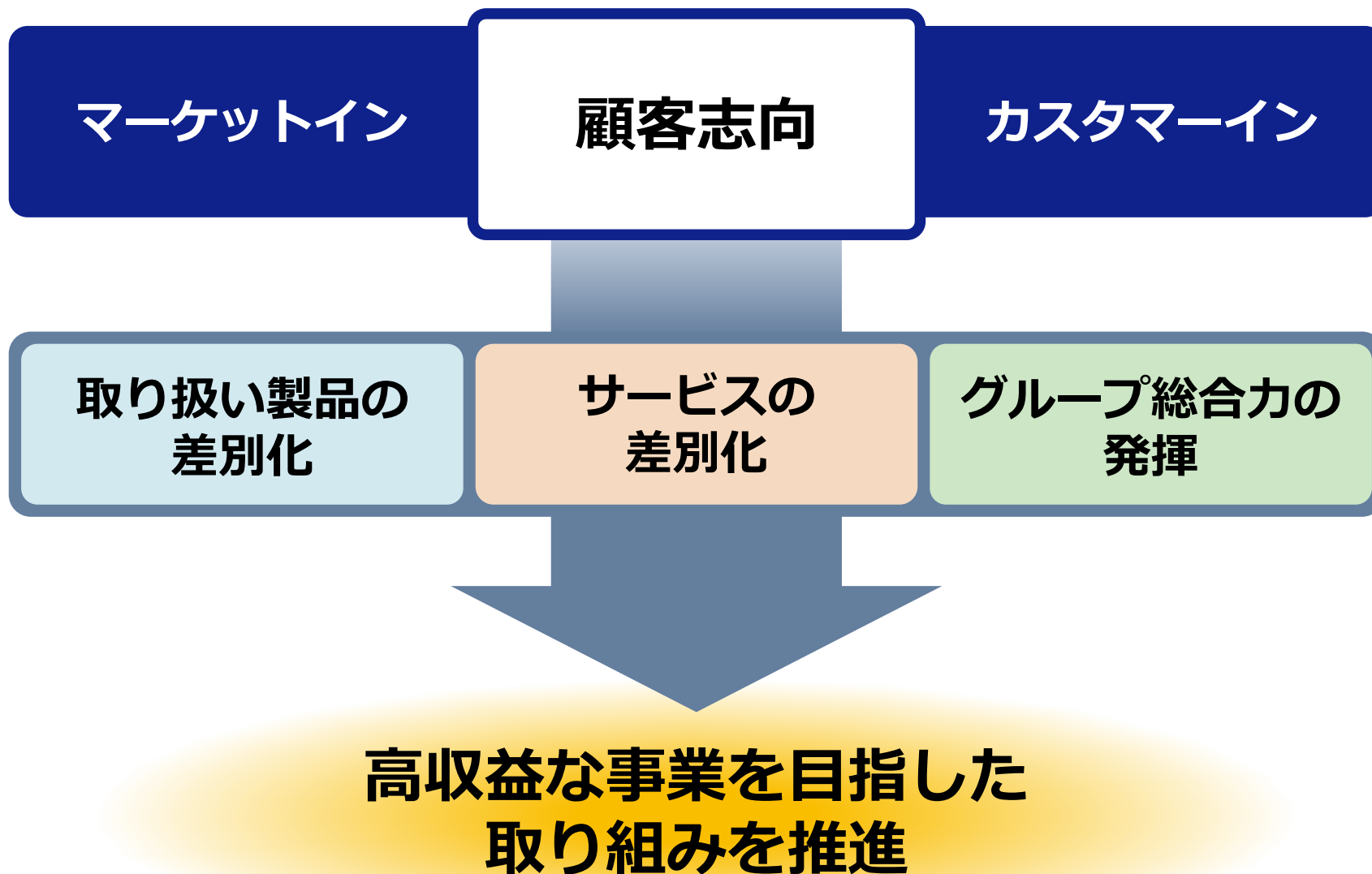
3 新たなビジネス モデルの構築

- サブスクリプションビジネスの開始
- ソフトウェア・ライセンス販売の推進



ワイヤレス給電
Ossia社 Cota

システム事業の取り組み



システム事業の取り組みと重点施策

1 航空宇宙機器

- 顧客ニーズに即した製品とエンジニアリングサービスの提供
- 自動車向け商材の強化



2 産業機器

- 最先端技術を用いた商材の開発
- 既存商品の付加価値を高める周辺技術や製品ラインナップの強化



3 レーザ機器

- 産業機器向け・医療機器向けビジネスの推進・拡大
- 深紫外や紫外線光源の販促を強化



システム事業の取り組みと重点施策

4 情報通信機器

- 5G・ローカル5Gの構築ソリューションを提供
- リモート操作や自動試験を行うネットワーク機器を販売



5 医用機器

- 取扱い製品のエンジニアリング力を強化しシェア拡大
- 新規商材と販売エリアの更なる拡大



 **丸文株式会社**

参考資料

企業概況

会社概要

創 業	1844年（弘化元年）
設 立	1947年（昭和22年）7月
所 在 地	東京都中央区日本橋大伝馬町8番1号
資 本 金	62億1,450万円
決算期日	3月31日
代 表 者	代表取締役社長 飯野亨
売 上 高	連結 2,892億円（2021年3月期） 単体 2,374億円（2021年3月期）
従業員数	連結 1,145名（2021年3月末） 単体 613名（2021年3月末）
株式上場	東京証券取引所 市場第一部（コード:7537）

事業領域

デバイス事業

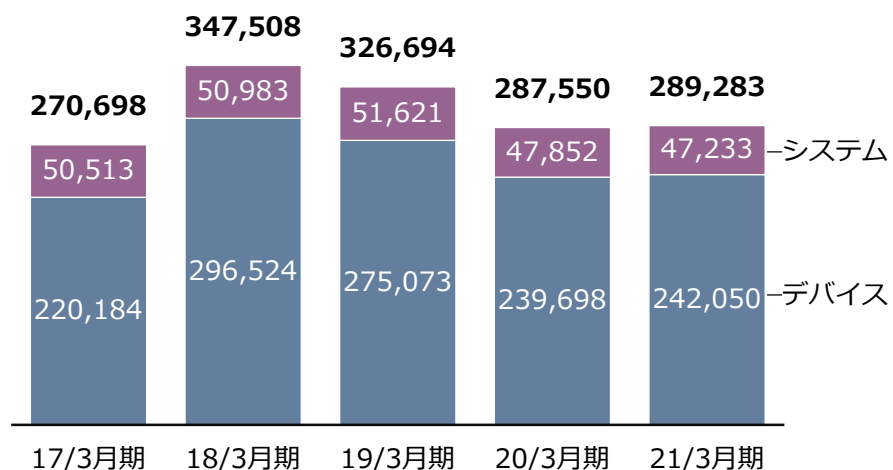
- 半導体
- 電子部品

システム事業

- 航空宇宙機器
- 産業機器
- レーザ機器
- 情報通信機器
- 医用機器

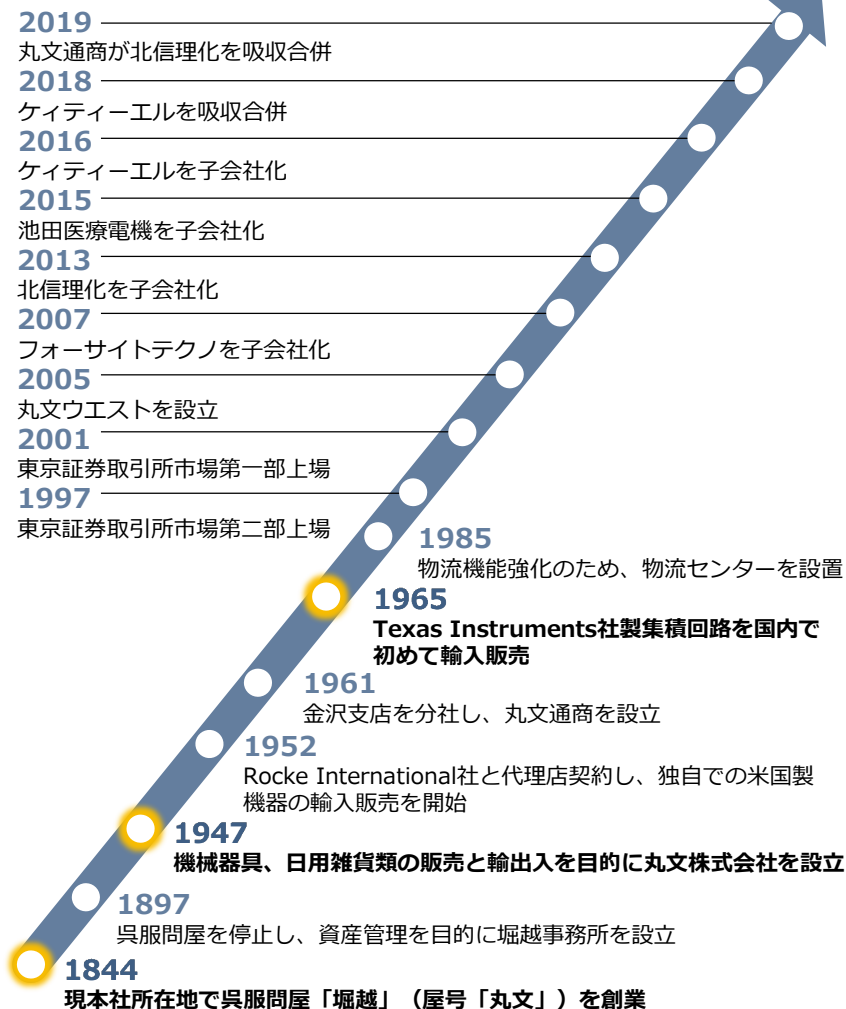
連結売上高の推移

売上高（百万円）

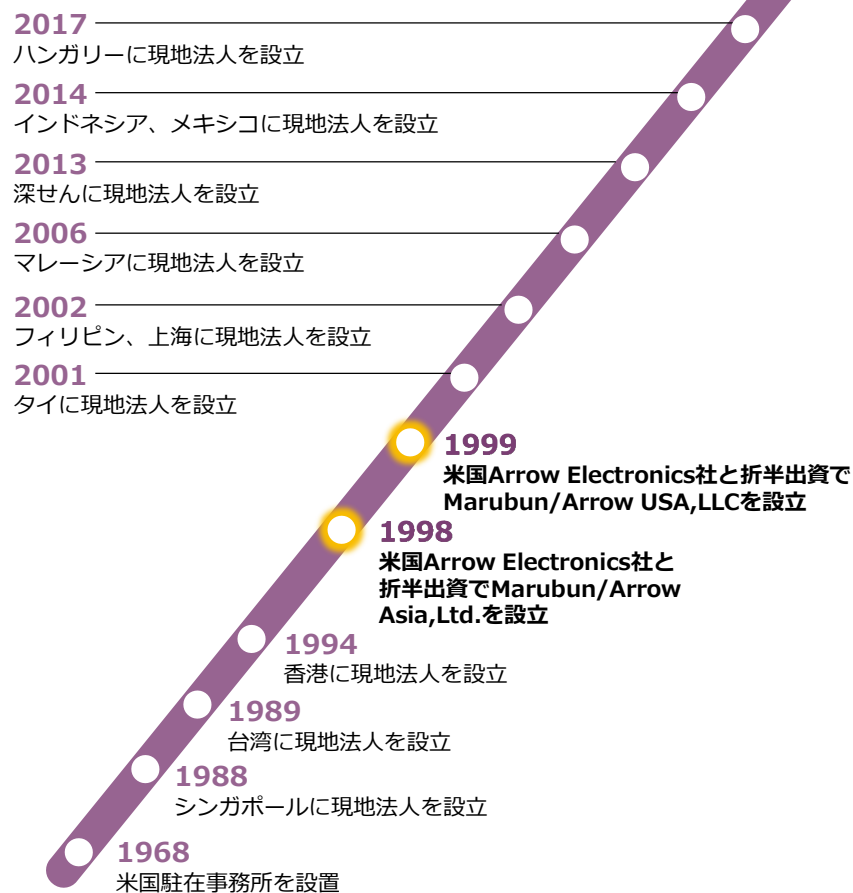


沿革

国内

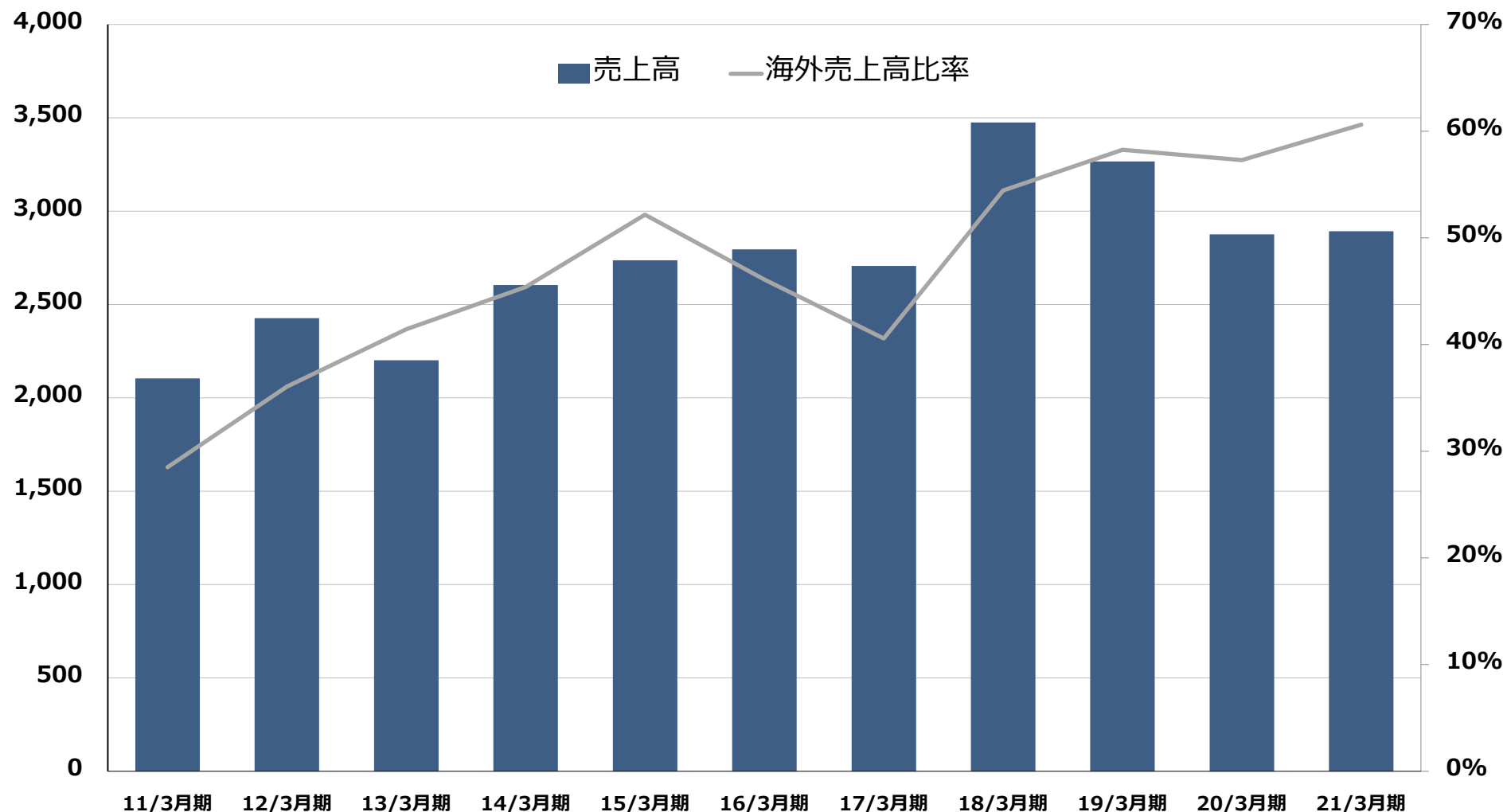


海外

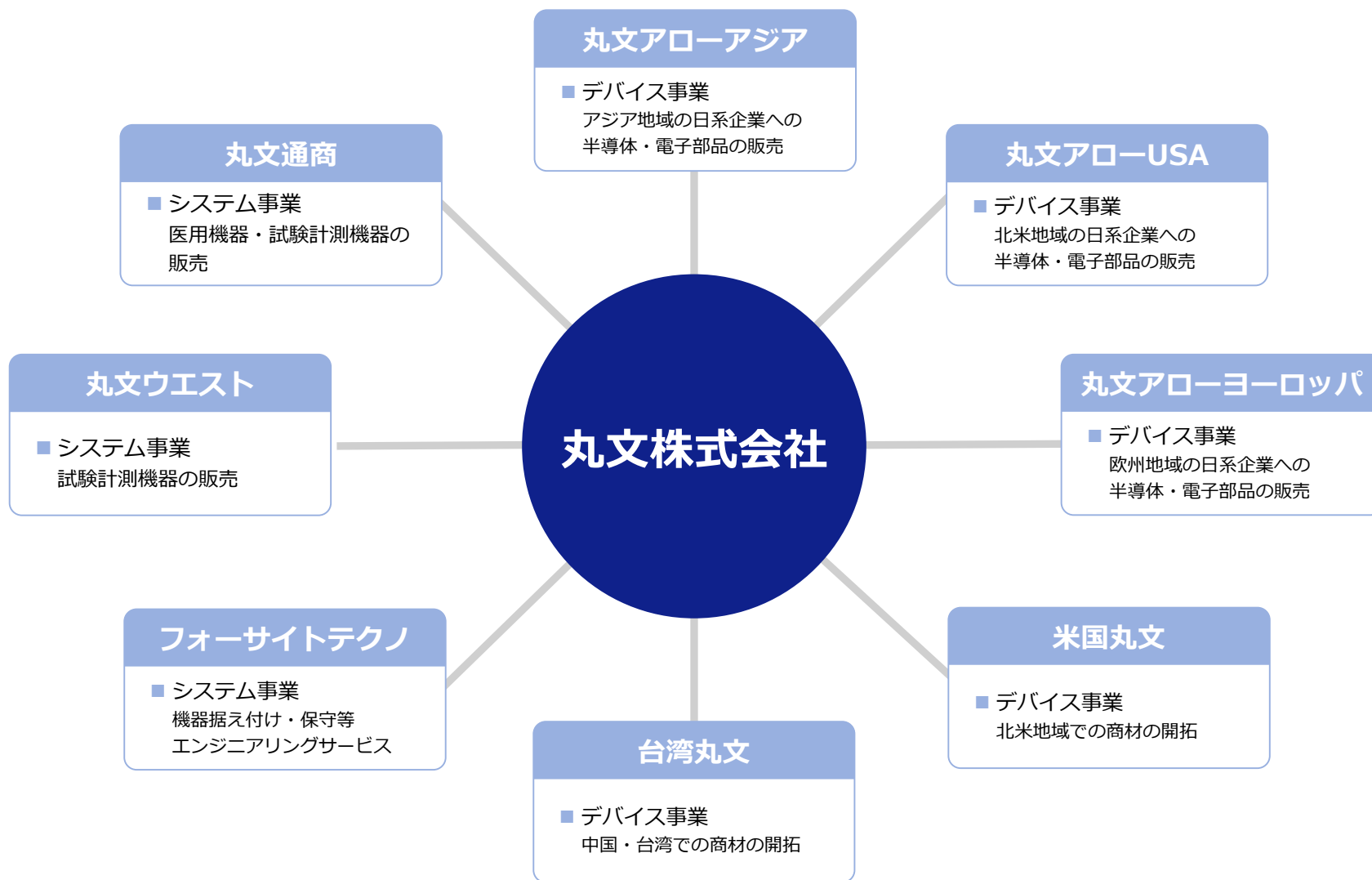


中長期トレンド（売上高・海外売上高比率）

(億円)

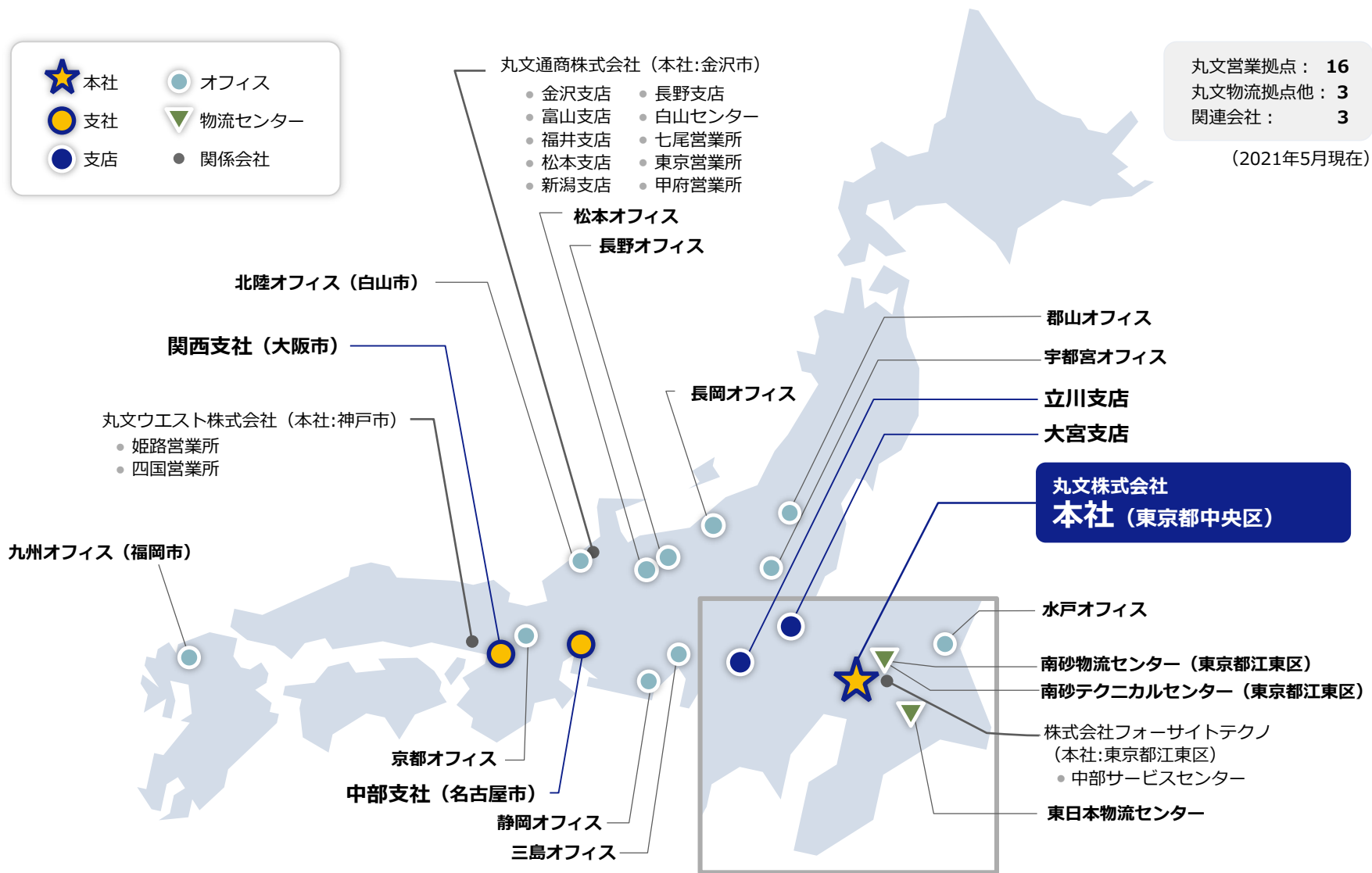


関係会社

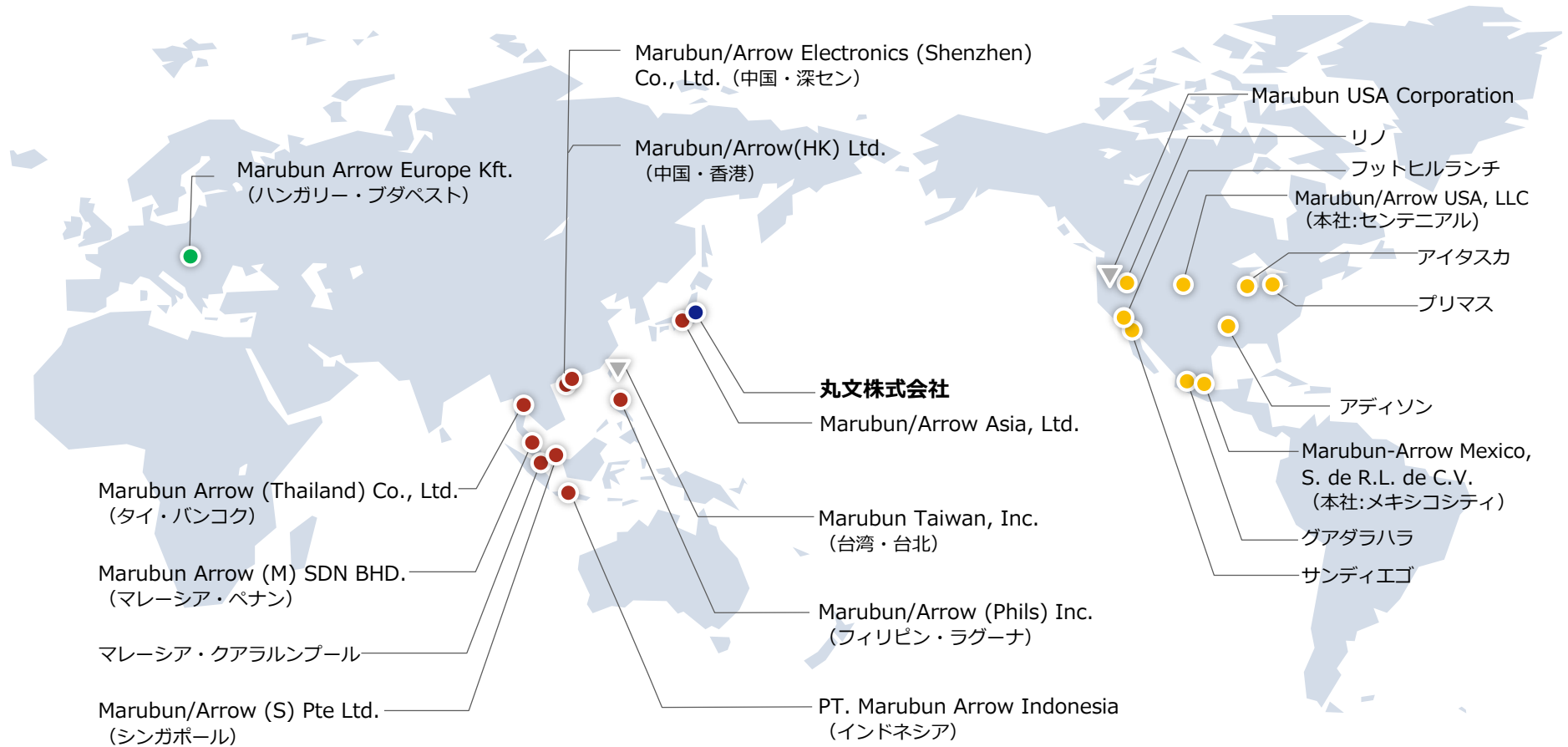


国内拠点

★ 本社	○ オフィス
● 支社	▽ 物流センター
● 支店	● 関係会社



グローバルネットワーク



アジア拠点 : 10
 北米拠点 : 10
 欧州拠点 : 1

(2021年5月現在)

- 丸文株式会社
- Marubun/Arrow Asia, Ltd.
- Marubun/Arrow USA, LLC.
- Marubun Arrow Europe Kft.
- ▽ その他

グローバルサポート

- アローエレクトロニクスとの協業
- 丸文アローによるワールドワイドで日本品質のサポート

豊富なラインカードと製品相互のシナジー

- 国内外の競争力のあるサプライヤをラインナップ
- 標準品からカスタムまで幅広い取扱製品

提供価値

システムソリューション

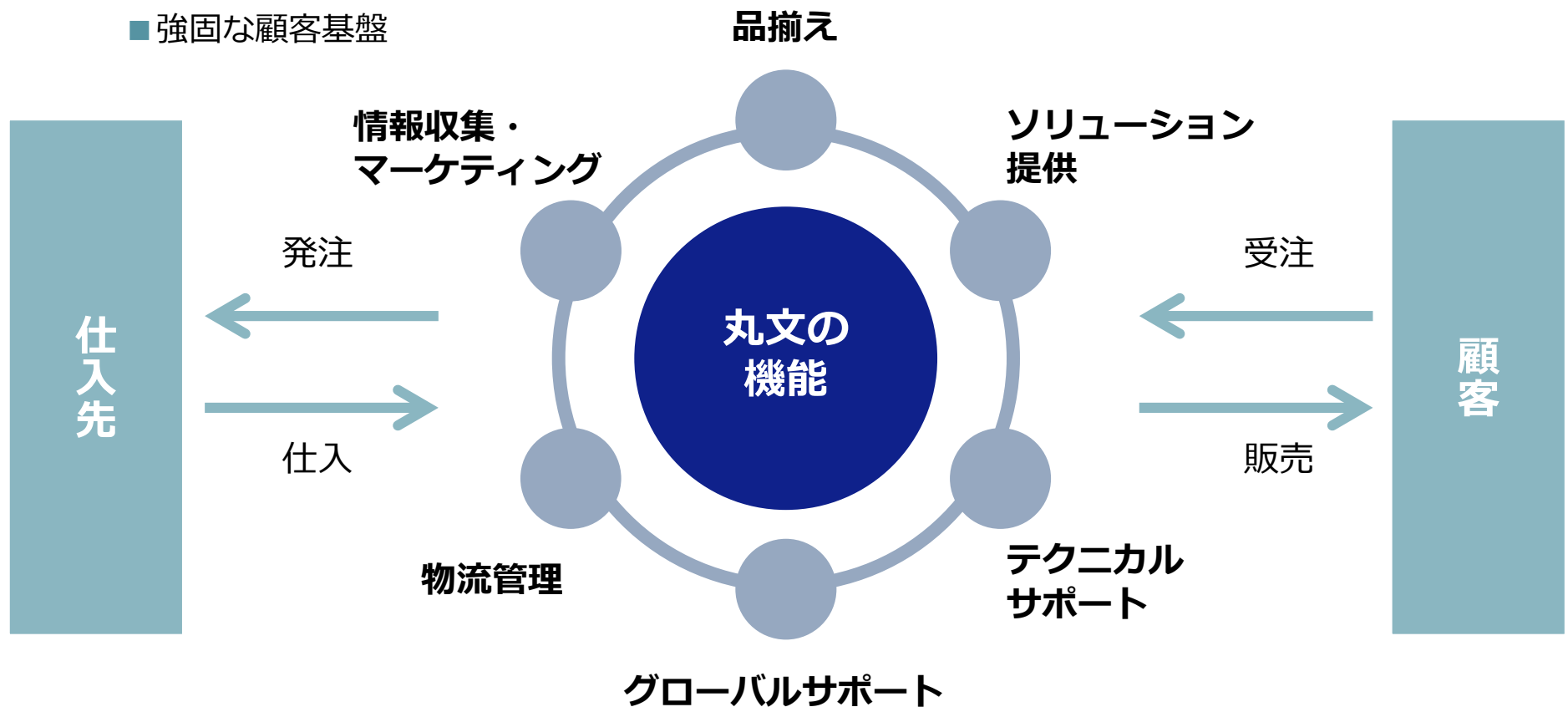
- 高い専門性をもつ強力な技術サポート体制
- 3rdパーティ、モジュールメーカ、EMS/ODM等との協業関係

長年にわたる取引で培われた強固な顧客基盤

- 国内電子機器メーカーを中心とする強固な顧客基盤

デバイス事業：特徴と強み

- 海外サプライヤを中心とした豊富な品揃え
- 米国アロー社との提携によるグローバルネットワーク
- 高度な技術力をもとにしたソリューション提案力
- 強固な顧客基盤



デバイス事業：グループ会社概要

社名	住所	設立年月	出資比率	事業内容
Marubun USA Corporation	California, U.S.A.	1983年10月	100%	丸文アローUSAの持株会社
Marubun Taiwan, Inc.	Taipei, Taiwan	1989年11月	100%	台湾製デバイスの仕入販売
Marubun/Arrow Asia, Ltd.	British Virgin Islands	1998年10月	50%	丸文アローシンガポール、丸文アロー香港の持株会社
Marubun/Arrow (S) Pte Ltd.	Pereira Road, Singapore	1988年3月	50%	
Marubun/Arrow (HK) Ltd.	Hong Kong, China	1994年8月	50%	
Marubun Arrow (Thailand) Co., Ltd.	Bangkok, Thailand	2000年10月	50%	
Marubun/Arrow (Phils), Inc.	Laguna, Philippines	2001年10月	50%	
Marubun Arrow (M) SDN BHD	Penang, Malaysia	2006年6月	50%	海外進出した日系企業への 半導体・電子部品の仕入販売
Marubun/Arrow Electronics (Shenzhen) Co., Ltd.	Shenzhen, China	2013年6月	50%	
PT. Marubun Arrow Indonesia	Jakarta, Indonesia	2014年4月	50%	
Marubun/Arrow USA, LLC*	Delaware, U.S.A.	1998年11月	50%	
Marubun-Arrow Mexico, S. de R.L. de C.V.*	MexicoCity, MEXICO	2014年9月	50%	
Marubun Arrow Europe Kft.*	Budapest, Hungary	2017年11月	50%	

* Marubun/Arrow USA、Marubun-Arrow Mexico、Marubun Arrow Europe Kft.は持分法適用の関連会社です。

デバイス事業：主要取扱い製品

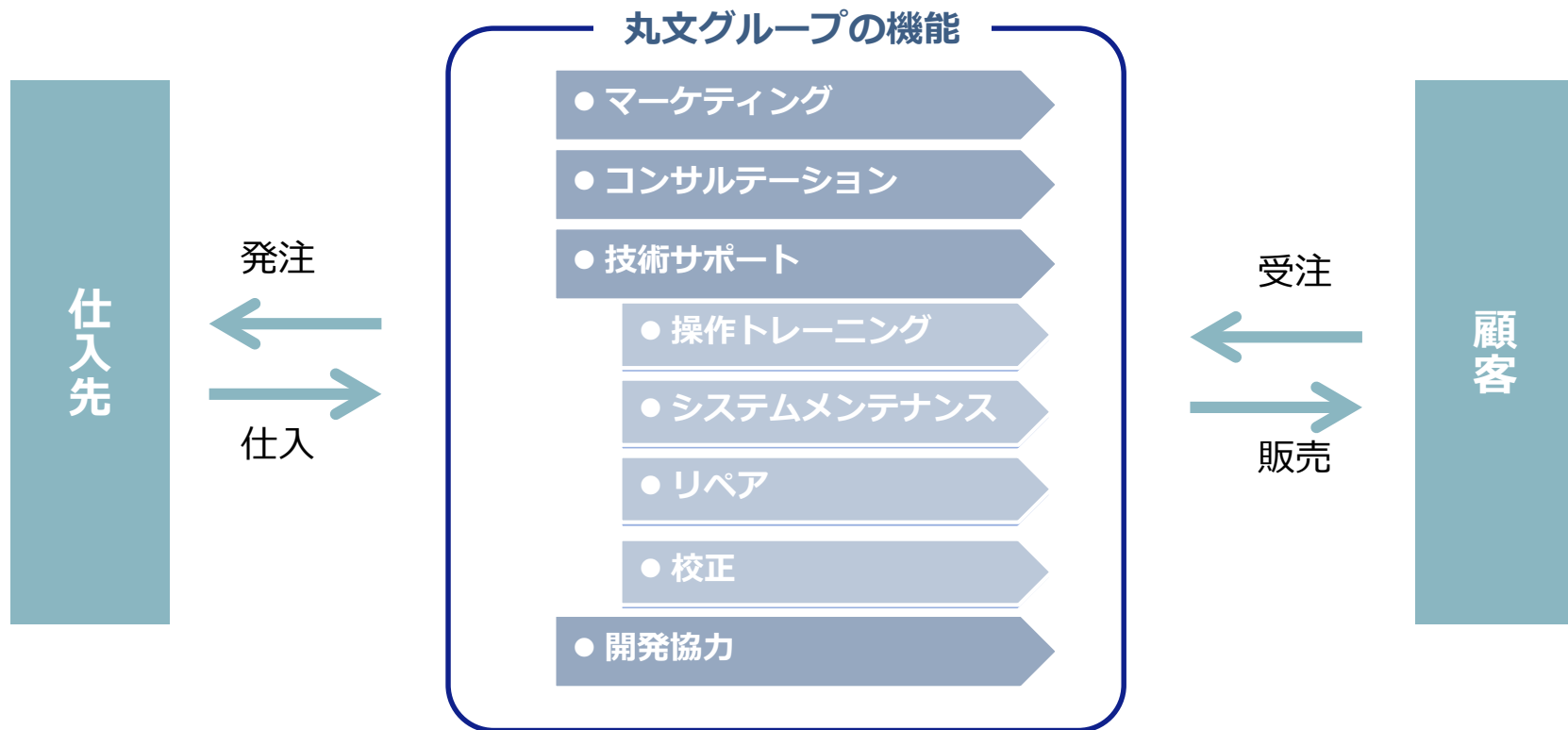
品目 主要仕入先 (アルファベット順)	半 導 体					電子部品		
	アナログIC	メモリーIC	マイクロプロセッサ	特定用途IC	カスタムIC	電子部品	電子機器	その他
	標準アナログ、センサー、ディスクリートなど	フラッシュ、DRAMなど	MPU、MCU、DSPなど	ASSP、LEDなど	カスタム、ASIC、FPGAなど	ディスプレイ、水晶振動子、コネクタ・スイッチ・基板など	ロボット、IoT機器、医療機器など	パワーサブライ、ボードPC、ソフトウェア、IPライセンスなど
エイブリック	●	●						
Afero				●			●	●
旭化成エレクトロニクス	●		●	●	●			
ATP		●						
Autotalks				●				
Broadcom	●			●	●	●	●	●
Cree	●							
Cypress※1		●	●	●				
Eink						●		
InvenSense	●							
ISSI	●	●		●				
GOWIN					●			
Littelfuse	●					●		
Maxim	●		●	●		●		
Microchip	●	●	●	●	●	●		
Molex						●		
MPS※2	●							
Nuvoton	●		●	●	●			
Qorvo	●			●				
セイコーエプソン			●	●	●	●	●	
SEMTECH	●			●				
TE Connectivity	●					●		
VANTIQ								●
VICOR								●
VISHAY	●			●				●
Western Digital		●						

*1:Cypress Semiconductor, An Infineon Technologies Company *2:Monolithic Power Systems,Inc.

Aeolus	AI搭載ロボット	Acconeer	ミリ波レーダモジュール	FINsix	超小型電力モジュール
Nanoramic	カーボンナノチューブ	OSSIA	ワイヤレス給電技術ライセンス	StethoMe	電子聴診器

システム事業：特徴と強み

- ハイエンド市場で、技術優位性の高い電子機器・部品を提供
- システム提案から据え付け保守まで、一貫した高レベルの技術サポート



システム事業：グループ会社概要

社名	本社	設立年月	出資比率	事業内容
丸文通商株式会社	石川県金沢市	1961年3月	100%	医用機器および試験計測機器の仕入販売・修理・メンテナンス
丸文ウエスト株式会社	兵庫県神戸市	2005年5月	100%	試験計測機器の仕入販売
株式会社フォーサイトテクノ	東京都江東区	1999年3月	51%	システム製品の修理・メンテナンス、エンジニアリングサービス

システム事業：主要取扱い製品①

分野	主要取扱商品	主要仕入先
航空宇宙機器	宇宙関連機器 計測・各種センサ	日本ベーカーヒューズ（株）、 Comtech Telecommunications Corp.、PCB Piezotronics, Inc
	航空関連機器 高周波電子機器	Bird Technologies、CPI Inc、Textron Systems Corporation
産業機器	検査装置 製造装置・組立装置	アキム(株)、Ansible Motion Limited、セイコーエプソン(株)、(株)FUJI、(株)ユー・エイチ・システム
	組込ソリューション	ADLINK Technology Inc、Aitech Defense Systems,Inc.、 Artesyn Embedded Technologies Inc.、DFI、Gorilla Technology Inc.
レーザー機器	半導体レーザー レーザー加工機	Amplitude、Laserline GmbH.、nLIGHT, Inc.、NUTECH GmbH
	光学機器	Excelitas Technologies Corp.、First Sensor AG、Luminus,Inc、United Power Research Technology Corp.、ViALUX GmbH、Young Optics Inc.
情報通信機器	RF・光通信 測位タイミング	Athonet S.R.L、Calnex Solutions Ltd.、EXFO Inc.、 Microchip Technology Inc.、PCTEL,Inc、Septentrio N.V.、Spirent Communications
医用機器	画像診断機器	コニカミノルタジャパン(株)、(株)島津製作所、シーメンスヘルスケア(株)、 富士フイルムヘルスケア(株)
	人工透析機器	旭化成メディカル(株)、(株)カネカメディックス、日機装(株)、
	臨床検査機器	シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティクス(株)、ベックマンコールター(株)

システム事業：主要取扱い製品②

航空宇宙機器



BEI Sensors社
高信頼性部品



CPI社
マイクロ波電子管

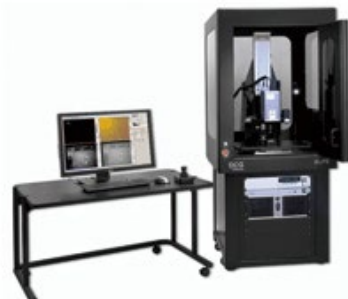
産業機器



島津製作所
ガスクロマトグラフ質量分析計



アキム
電子部品組立装置



FEI社
赤外線発熱解析装置



FUJI
大気圧プラズマ表面改質装置

システム事業：主要取扱い製品③

レーザ機器



nLIGHT社
組み込み用半導体レーザ



Laserline社
レーザー加工装置

情報通信機器



Microchip社
ネットワークタイムサーバー



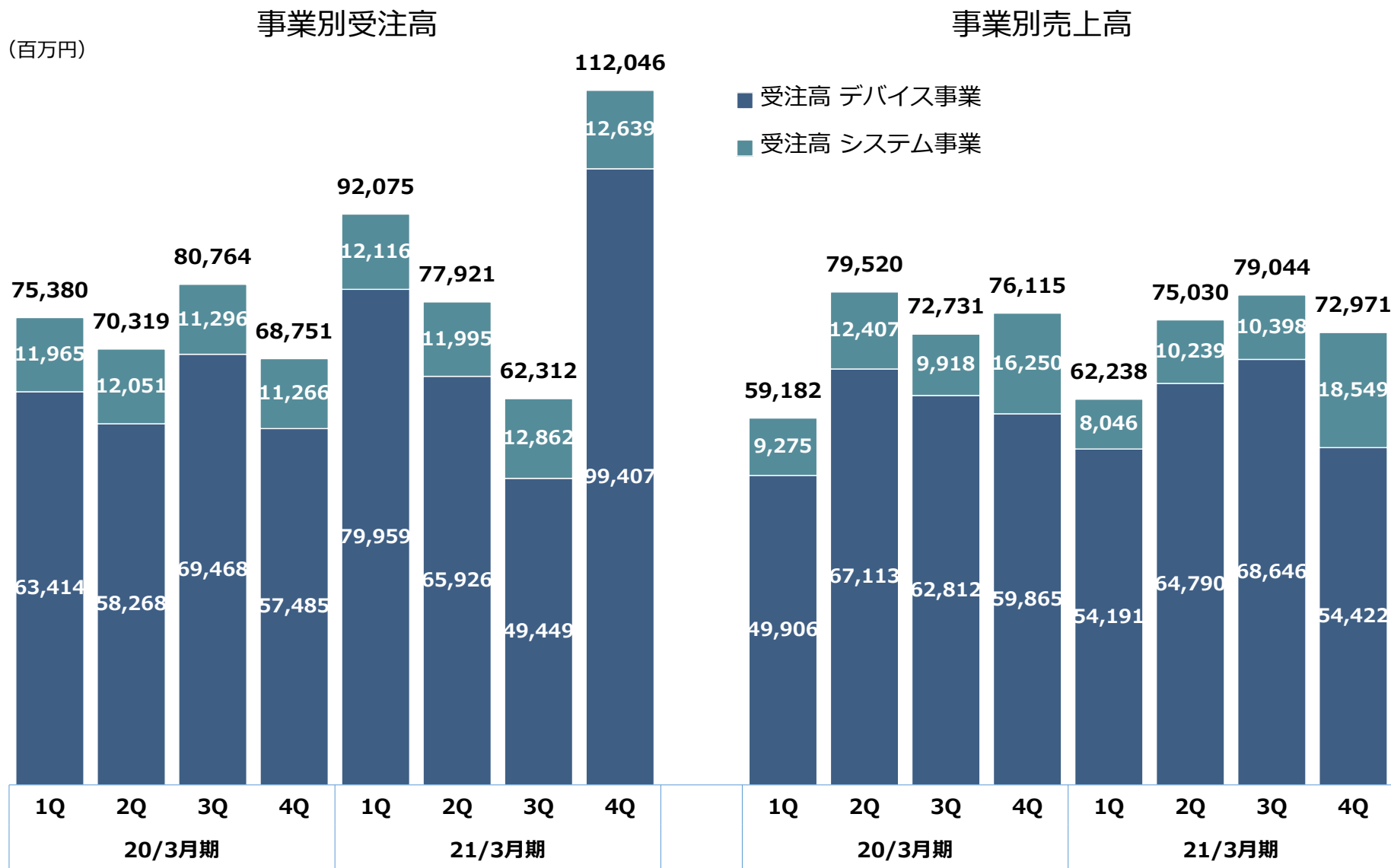
Spirent社
GNSSシミュレータ

医用機器



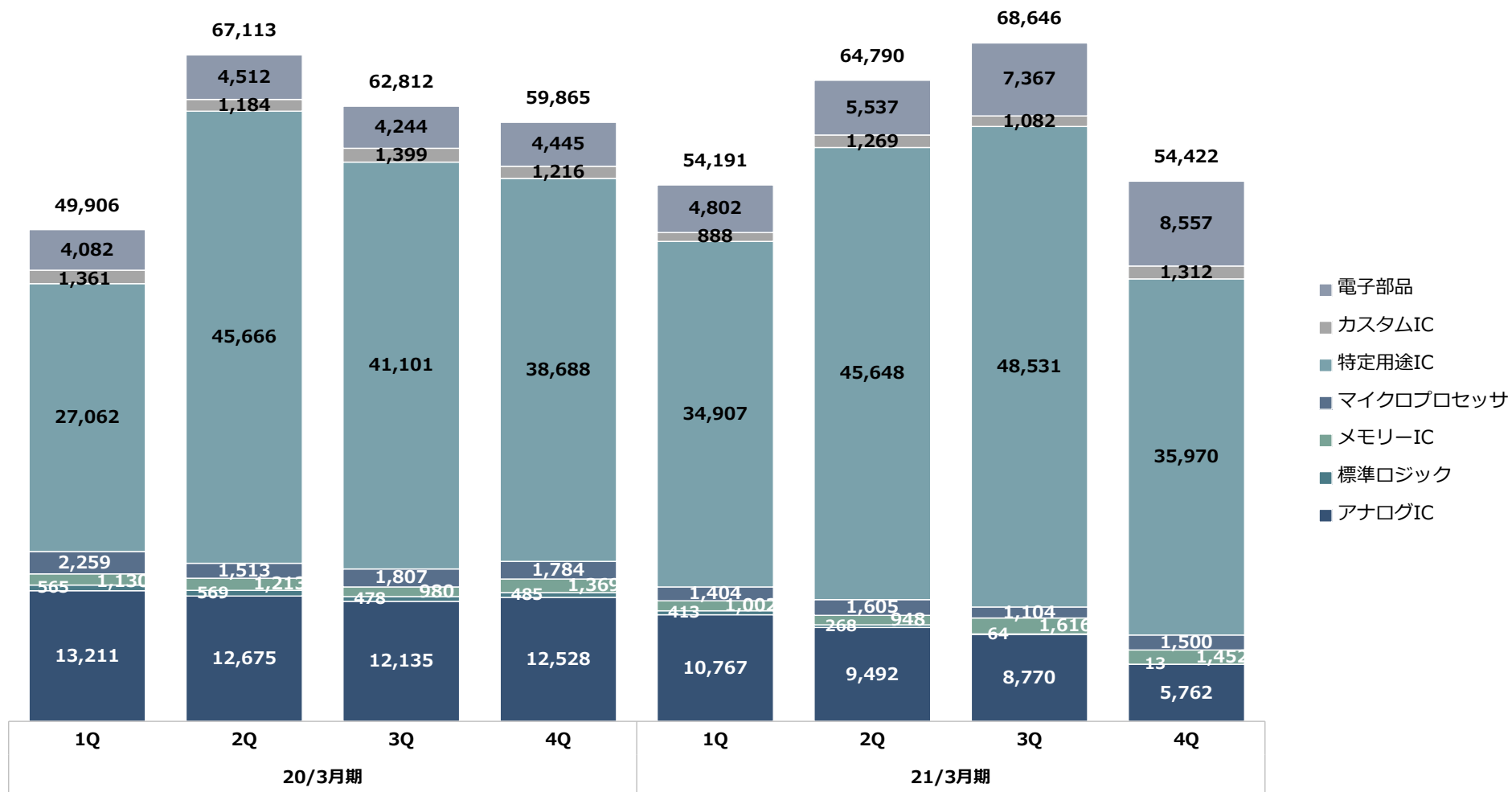
シーメンスヘルスケア社
X線CT装置

業績四半期推移（事業別受注高・事業別売上高）



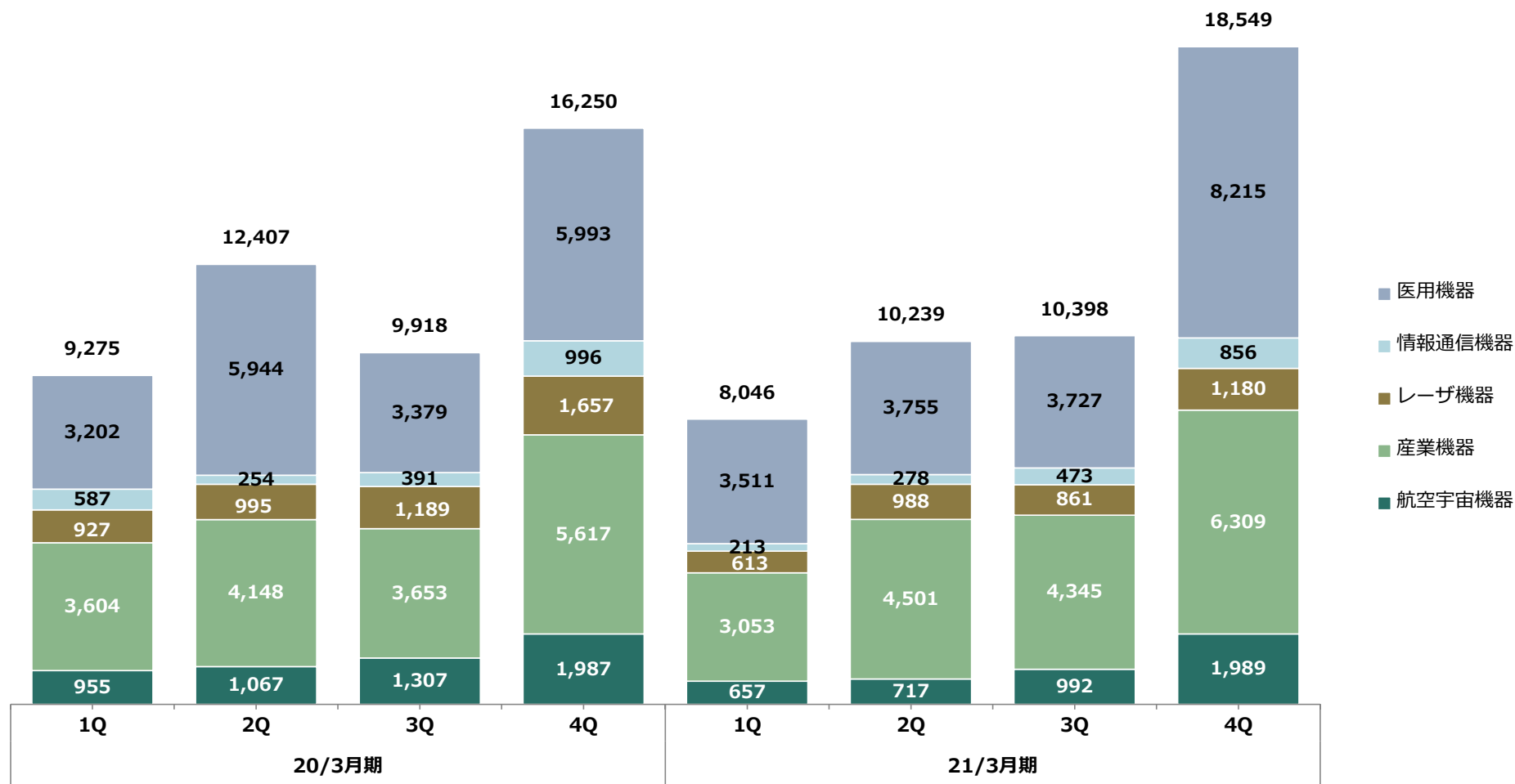
業績四半期推移（デバイス事業：品目別売上高）

(百万円)



業績四半期推移（システム事業：品目別売上高）

(百万円)



本資料お取扱い上のご注意

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な重要な要素により異なる可能性がありますことをご承知おきください。

本資料に関するお問い合わせ

丸文株式会社 経営企画部

E-mail ir@marubun.co.jp